

私の授業スタイルについて

授業の目的

- ・ 「情報」 「情報処理」というものの理解
- ・ 「コンピュータ」 「ICT or IT」の理解
- ・ コンピュータ系授業の基礎・入り口
- ・ 資格試験への入り口(基礎知識の習得)

社会におけるコンピュータの位置づけは？



コンピュータ概論Aの授業予定

情報に関する一般教養的な話題

- ・ 「情報」について
- ・ 社会との関係について

苦手意識の克服！

コンピュータでの情報の取扱い

- ・ どのように「情報」が扱われるのか？扱うのか？

コンピュータそのものについて・動作原理について

- ・ 特に「ハードウェア」面からの学習

⇔ 「ソフトウェア」 : これは後期のコンピュータ概論Bで学習

他の授業との関係について

- ・ **コンピュータ系**基礎的科目
- ・ 他の学生にとっても同様な位置づけとして

→ コンピュータ概論B, 2年次生の情報システム概論へ繋げていきます

資格試験との関係について

この授業は、直接資格試験を目指す科目とは違います・・・

部門もしくはグループ内の情報化をエンドユーザの立場から推進する立場

関係する資格としては

- ・ 「ITパスポート」試験
- ・ コンピュータ関連検定試験の常識試験
- ・ より高度な資格試験への入り口

「Webサイト制作」 「セキュリティ技術者」

などがあります・・・

これらの、基礎的な知識・技術の習得(講義科目)

ITパスポート資格試験に関係する科目は広い・・・慌てず焦らず準備してください

- ・コンピュータ・情報に関する知識(広く基礎的な知識) ← コンピュータ概論A
- ・アプリケーションソフトウェアに関する知識
- ・データベースに関する知識
- ・ネットワークに関する知識
- ・情報セキュリティに関する知識
- ・企業の形態・経営・会計に関する基礎知識

この科目について確認しておきたいこと

授業形態について

- ・ **選択科目** である (⇔ 必修科目)
- ・ 講義科目である (⇔ 実習科目)
- ・ 基礎的科目 (⇔ 専門科目)



→ 授業での実習量・難易度が決まります

テキスト

- ・ 資格対策の教科書を使用します
 - ・ 比較的メジャーな資格なので多数でています
- テキストの手配について(後期・2年次の使用についても)

パソコンの利用について

- 科目分類的には、実習科目ではありません・・・主に道具として利用します。
- どちらかという、鉛筆・消しゴム等の延長？
- コンピュータの使い勝手を確認しながら授業教材として利用していきます
- 遊び道具、内職など、授業に無関係な利用が増えれば利用禁止もありえます

授業進行予定

→ シラバス

情報に関する話題を取りあげながら授業を進めていく予定

毎回簡単な復習問題やまとめ課題を実施して理解度が高まるようにします

- ・・・毎回、十分予習をしてください
- ・・・知識を少しずつ積み重ねていくこと

授業の評価について

・いろいろ多面的に評価を試みます

・定期試験

・レポート・課題

・平常点(出席を含む) ☆

・取り組み態度

↓

(経験者などについては・・・到達度・学習の伸び度を見る?)

・授業や単位取得の難易度について

確認しておきたい事柄

→ アンケート